

目 次

1	提言等のポイント	1
2	多忙化の現状	6
3	原因・背景等	8
4	負担軽減に向けた提言等	
	《 全体で取り組むこと 》	
	【提言 1】 部活動のあり方について	10
	【提言 2】 研究指定等のあり方について	18
	《 各学校での取組をお願いしたいこと 》	
	【提言 3】 学校における教職員の負担軽減対策の推進	25
	《 市町村教育委員会での取組をお願いしたいこと 》	
	【提言 4】 小中学校の裁量拡大の促進	32
	《 県教育委員会で取り組むこと 》	
	【取組 1】 県立学校における「労働安全衛生体制等の確立・推進モデル事業」の実施	38
	【取組 2】 教職員のメンタルヘルス対策の推進	40
	【取組 3】 岩手県教育委員会事務局等による学校現場の負担軽減対策の推進	49
6	おわりに	
	多忙化解消検討ワーキング・グループリーダー謝辞	53
7	資料編	
	(1) 平成 18 年度文部科学省「勤務実態調査」結果データ	54
	(2) 労働安全衛生法関係文部科学省通知	58
	(3) 小・中学校教員の多忙化問題に関する検討委員会提言（H19.3:抜粋）	62
	(4) 多忙化問題検討委員会（県立学校）からの提言（H17.12.28:抜粋）	64
	(5) 生徒のスポーツ活動休養日の設定について（H18.2.8 スポーツ健康課通知）	66
	(6) 児童生徒のスポーツ活動の在り方について（H17.3.9:岩手県教育委員会）	68
	(7) 完全学校週 5 日制における部活動のあり方について（岩手県中学校体育連盟）	72
	(8) 部活動休養日周知用ポスター（参考）	73
	(9) 平成 20 年度市町村別研究公開・研究指定の状況	75
	(10) 「カイゼン」のキーワード	76
	(11) 「こころの健康」に関する実態調査結果	80
	(12) 岩手県教育委員会における会議、研修及び調査等の精選に関する方針	87
	(13) 多忙化解消検討ワーキング・グループ設置要綱、メンバー一覧、検討会開催状況	91